

原水爆禁止二〇一九年世界大会

市長メッセージ

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、丸亀市民の願いでもあります。

広島・長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われたから、早七十四年。二度の世界大戦は、戦争が悲劇以外の何も残さないことを私たちに知らしめました。

そして、東日本震災による福島原発事故の発生。今なお大勢の方々が避難生活を余儀なくされ、改めて放射能の脅威について考えさせられるところでもあります。

我が国は、世界唯一の被爆国として、全世界に向けて「速やかな核兵器の廃絶」を、粘り強く訴え続けていかなければなりません。

丸亀市では、昭和五十九年、「非核平和都市宣言」を行い、今日まで市民とともに、平和で、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりました。今後も人類共通の願いでもある、核も戦争もない平和な二十一世紀の実現に向け、努力してまいる所存であります。

本大会が実り多い成果をあげられますとともに、ご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。

令和元年八月吉日

丸亀市長 梶 正 治